

2025年7月6日 聖霊降臨後第四主日礼拝説教

「キリストの代わりとして」(ルカ10章1～20節)

○ルカ10章1節のみことば

「その後、主はほかに七十二人を任命し、a. 御自分が行く
つもりのすべての町や村に二人ずつ先に遣わされた。」

- a. 【原語】キリストご自身が、必ず行きたいと強く願った。
- b. エルサレムに上るためガリラヤを離れた救い主イエスはユダヤとの間にある多くの町や村を通り過ぎて行かれた。

「行きなさい。わたしはあなたがたを遣わす。それは、
狼の群れに小羊を送り込むようなものだ。」(3節)

☞通り行く道の傍らに住む人も救いたいと願うキリストに残された時は少なく、弟子らに御心を託すしかなかった。

※神の子イエスは、きょうも、ご自身の代わりとなる者を遣わし、その人を用いて、〈みことば〉が語られていく。

今日のみことば：ルカ10章16節

「あなたがたに ^{みみ} 耳を傾ける者は、わたしに ^{みみ} 耳を傾け、
あなたがたを ^{こば} 拒む者は、わたしを ^{こば} 拒むのである。」

みことばを伝える〈わたしたち〉は、そのうちに示される救い主イエスを、みことばに聞く人へ届ける者となっていく。

☞キリストは、聖霊なる神が、あなたをとおして語る言葉によっても、ご自身の〈みわざ〉を現わし、耳を傾ける者のうちに働かれて、救いの訪れを告げ知らせてくださる。

※わたしたちによって、キリストのことが語られ、この方を届ける〈みことば〉が伝えられるよう、共に祈り続けよ。

○ルカ10章20節のみことば

「むしろ、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」

☆いつも、赦されている喜び、天に帰る望みをもちながら、救いを勝ち取ったキリストを褒め、この方の御声に聞こう。